

11月度例会 個人山行報告書		報告者	渡 辺	参加 メンバー	CL: 塚本英吾、 メンバー; 浜島弘一 青山武 渡辺勝利
山 域	南信州	報告日	11/25		
山 名	卯月山	山行日	10年 11月 23日 (火)		
山行目的	干支登山下見		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)

1/2.5 万地形図:

11/23 晴	
7:00 豊田 浜島氏宅発	
8:30 飯田 IC	
9:05 観世音堂	
9:20~35 峠 (十字路)	< 推定歩行距離 >
9:58 卯月山登山口	越久保浄水場
10:03~38	↓ 1.5 km
卯月山頂上	観世音堂
10:45 卯月山登山口	↓ 1.5 km
ここでパーティを2分し 2ルートを調査	峠 (十字路)
① 峠ルート下山	↓ ≒ 1.0 km
11:00~15 峠 (十字路)	卯月山
② 小野子ルート下山	↓ ≒ 1.5 km
12:00 小野子部落	小野子
12:10 ①②ルート合流後 温泉・食事施設を 調査	※マイクハズは浄水場 までしか入れない と思われる
18:30 豊田帰着	

<山行報告> 気象予報士の犬矢君の予報どおり、昨夜来の雨もすっかり上がって今朝は上天気である。来年の干支登山の下見のため「卯月山」に入山。浜島氏宅を7時に出発し、高速道路の渋滞もなく、スムーズに飯田 IC から R256 に入り、上久堅、越久保を経由して観世音堂横を山道に入る。かなりの急勾配であるが車なら問題なく、程なく秋葉街道の峠 (十字路) に着く。ここはかなり広々として駐車スペースもあり、往時の賑わいを偲ばせる場所である。ここにはしっかりした絵地図が掲示されており、小川路峠、照仙閣、卯月山方面が明確に表示されており、登山準備をした後、早速我々は卯月山方面への林道を辿ることにして出発。この付近の山には赤松が多く松茸の産地らしい。尾根に沿った林道横は全面金網が張り巡らされ「関係者以外入山禁止」の看板も出ているが今は人影もない。車が通れる幅広の林道を下ること 20 分で登山口と書かれた小さな標識が現れる。ここには小野子からの林道 (使われていない)、小野子からの登山道 (どうやら踏まれている) が合流する。ここから頂上へは瞬きする位の近距離で汗を掻く暇もなく到着。頂上は広々としているが風当りは良さそうで冬場は長居できそうにない。その分、中央アルプスの展望はすばらしい。あまりにも短時間で着き過ぎたので、これでは干支登山時のルートとして山屋の皆さんには物足りないと考え、下山時は 2 パーティに分け、塚本、青山組は小野子からのルート調査、浜島さんと渡辺の峠組は往路を下山し、小野子ル

の塚本組を收容する計画で行動再開。峠組は難なく車で平地に戻り、R83 経由で小野子部落へ回り、タイミングよく下山してきた塚本組と部落の中ほどで合流できた。(R83 の小野子バス亭付近に大きな駐車スペースあり) その後、本番時の下山後の入浴、食事場所 5 件 (ほっ湯アップル、丸山の湯、よしの亭、宝の湯、殿岡温泉湯~眠) を調査し、高速道路の渋滞が多少あったものの 18 時過ぎに無事下見の任を終え帰着。

<リーダー所見> <登山ルート&入浴・会食場所評価> 小野子ルートは尾根の腹を標高差で 250m 程度登るがアップダウンもそれ程ではなく、高齢者用の登山道としての問題 (多少の泥濘あり) は少ないと思われる。又、峠ルートは林道歩きが主のため登山対称から除外し本番は小野子ルートと決定。又、入浴・会食場所は 5 件の候補から施設、価格面で最もお値打ちと思われる殿岡温泉湯~眠 (飯田 IC 直ぐそば) と決定し、バス手配等の本番準備に入りたい。

《フリースペース》

白銀の中央アルプスの展望

確認 (リーダー)
塚本 10/11/27
渡辺 10/11/25

作成 (報告者)
渡辺